

「松陵小跡施設利活用ニュース」では、松陵小跡施設の利活用策検討の概要や松陵小跡施設に関わる取組みについて、泉松陵小学区内にお住まいの皆様にお知らせします。



### 地域で利活用する事業を検討しています



思い思いにアイデアを書き出し  
意見交換をしました

前回の協議会に引き続き、高橋雄志まちづくりアドバイザーのコーディネートにより、地域が中心となる利活用事業の具体的なアイデア出しが行われました。

各委員から、一言ずつ利活用事業のアイデアや思いが述べられた後、K J 法（※）を用いて思い思いにアイデアが書き出されました。その中には、「様々な人が気軽に立ち寄れるカフェ」「子どもと高齢者との交流の場と

なる保育室」「地域団体のコンサートなどの発表の場」といった地域交流の場としての利活用や、「店を持ちたい人がチャレンジする日替わり食堂」「テレビ・映画撮影スタジオ」「貸しオフィス」といったビジネスにつながる利活用など、多くのアイデアが出されました。

次回の協議会では、これらのアイデアをグループ分けし、互いに関連付けをしながら、具体的な事業の方向性の検討が行われます。

#### ※K J 法

データをまとめるために考案された手法。意見やアイデアをカードに記述し、カードをグループごとにまとめて、図解し、文章化してまとめるもの。



松陵小跡施設ゾーニング案

#### 松陵小学校跡施設利活用協議会

##### 【次回の開催予定】

日時：平成 25 年 7 月 30 日（火）19:00～

場所：松陵市民センター2 階

第 2・3 研修室

内容：地域利用ゾーンの検討 他

#### お問い合わせは…

##### 【松陵小学校跡施設利活用協議会事務局】

（仙台市教育委員会学校規模適正化推進室）

〒980-0811 仙台市青葉区一番町 4 丁目 1-25-2 階

TEL:214-8432 FAX:264-4428

E-mail:kyo019031@city.sendai.jp

## ～ 地域による跡施設維持プロジェクト ～



### 畑づくりが行なわれました



プロジェクトの第1弾として、「松陵小跡施設で畑づくり」が6月29日（土）に体育館南側の畑で行なわれ、子どもたちが大切に手がけていた畑を再生させようと、泉松陵小学区内の30名以上の方々が集まり、畑づくりが始められました。

3名の野菜づくりアドバイザーをお迎えして、畑の草取り・石取り、耕し・畝づくり・肥料入れなどの土作りが行われ

た後、用意された枝豆とトウモロコシの苗が手入れされた畑に植えられました。

また、7月6日（土）には、はつか大根、春菊、水菜といった野菜の種まきと、なす・トマトの苗の植え付けが行われました。

なお、このプロジェクトで収穫された野菜は、地域のイベントなどで使用されます。



### ホームページが開設されました

プロジェクト第2弾として、地域の皆様の利活用の検討状況をいち早くお知らせするため、協議会のホームページが開設されました。

協議会での話し合いの内容や畑づくりのお知らせなどを掲載するほか、跡施設に関する日々の動きもブログでお伝えします。

詳しくは、右記アドレスからホームページ、ブログをご覧ください。

#### 松陵小学校跡施設活用協議会

廃校活用をみんなで考え、地域協働で未来の松陵を創って行く。

最新情報はブログで  
<http://blog.goo.ne.jp/syoryolove>



#### 協議会の目的

平成25年3月に開校した、仙台市立松陵小学校跡施設の今後の利活用を検討しています。

平成26年2月には利活用案をまとめ、仙台市教育長に提出する予定です。

#### 会の概要

名称  
松陵小学校跡施設

設置  
平成24年6月10日

委員数  
13人

ホームページ⇒<http://syoryolove.web.fc2.com/>

ブログ ⇒<http://blog.goo.ne.jp/syoryolove/>



### 跡施設の水道水を飲まないようご協力をお願いします

6月14日（金）に跡施設内の水道の定期検査を行いました。その結果、水道設備に破損等の異常は見受けられませんでした。水の使用量が少ないため、水質が飲料水として適さないとの結果となりました。これまでもスポーツ開放の利用団体等の皆様には跡施設の水道水を飲まないようお願いしてきましたが、引き続きご協力をお願いします。

また、2階の利活用を提案している仙台市博物館の「市史編さん資料活用事業」の検討にあたり、跡施設内の環境測定を行ないます。市史編さん資料の保存にあたり、室内の温度や湿度などについて季節ごとの状況を把握するため、跡施設内に測定器を設置し今後1年程度測定を続けます。7月から測定を開始する予定としており、月1～2回程度博物館の職員等が跡施設内に出入りすることになります。